

改築基本計画について

1

基本計画の位置づけ

学校施設整備基本方針(平成27年5月策定)



学校施設整備基本計画(令和2年3月策定)



改築基本計画(令和5年3月予定)



改築基本設計(令和5年4月～令和6年3月)



改築実施設計(令和6年4月～令和7年3月)



解体工事・新築工事(令和7年4月～令和9年12月)

全校共通

学校ごと

2

基本計画とは

- 改築事業の実施に当たっては、学校の独自性を踏まえつつ、市全体の学校施設の整備方針、物理的余裕及び地域性を鑑み、検討を行う必要があります。
- 基本計画では、改築事業を進めていく上での**基本的な考え方**を示すとともに、今後の設計を行うための、新たな**学校施設の規模、配置及び事業スケジュール等与条件の整理**を行います。

3

参考：武蔵野市立第一中学校改築基本計画 p.1

基本計画の内容

- 1 基本計画の背景と目的
- 2 改築校の概要
敷地状況、児童数など、学校の基本データ
- 3 基本方針
学校の特色を踏まえた大きな方針
- 4 整備方針
教育空間の考え方、防犯・安全対策、防災機能、環境配慮などの方針
- 5 改築事業の概要
改築規模、建物配置、ゾーニング計画など

4

参考：武蔵野市立第一中学校改築基本計画 目次

教育空間の考え方

5

共通する教育空間の考え方

武蔵野市では、令和3年の第一・第五中学校改築基本設計を通じて、公平な教育空間を整えていくための、共通する教育空間の考え方を整理しました。

- ① 学習や教育の変化に対応し、主体的・対話的で深い学びができる施設
- ② 新しい時代の学びを実現する学校施設
- ③ 校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間整備

6

(1) 学習や教育の変化に対応し、主体的・対話的で深い学びができる施設

施策の基本的な考え方

「これからの時代に求められる資質・能力を育む教育」

多様化に対応した教育空間として

「**学習や教育の変化に対応し、主体的・対話的で深い学びができる施設**」が求められる。

「武蔵野市学校施設整備基本計画」に位置付け

- ・ 「多様な学習形態を可能とする教室・教室まわり」
- ・ 「主体的な学習活動を支援するラーニングコモンズの整備」
- ・ 「ICT環境の充実」
- ・ 「教科教育の充実のための特別教室・特別教室まわり」
- ・ 「学校環境の変化に柔軟に対応できる施設計画」
- ・ 「インクルーシブ教育システムの構築に資する施設」

7

参考：武蔵野市立第一中学校改築基本設計概要版 p.4

(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設

・ Schools for the Future

「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

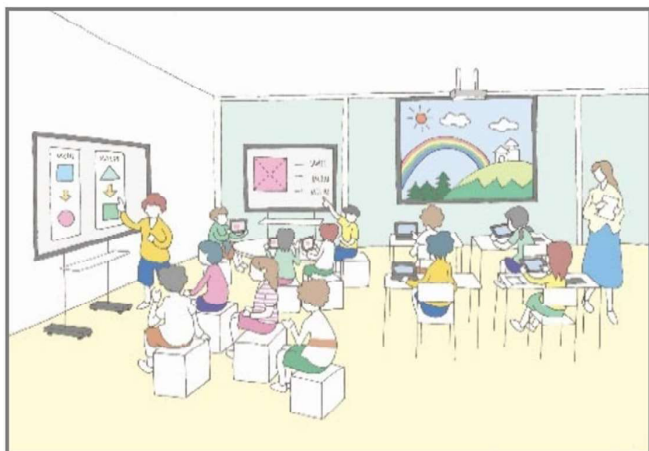
- ① 教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す
- ② 単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点(柔軟性)をもつ
- ③ 画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点(可変性)をもつ
- ④ 関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する

全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

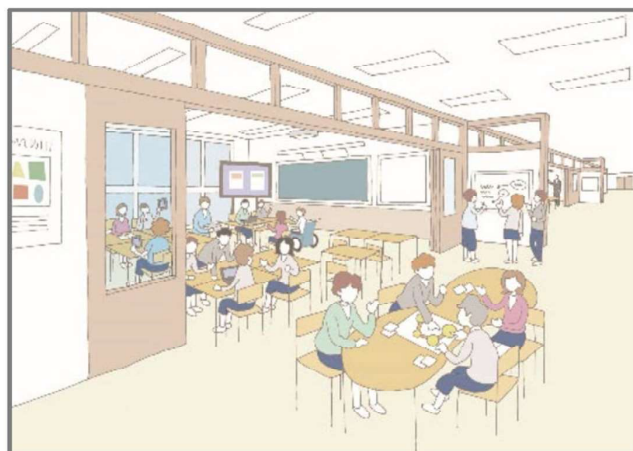
8

文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校の在り方について」より抜粋

(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設



1人1台端末環境等に対応したゆとりある教室の整備

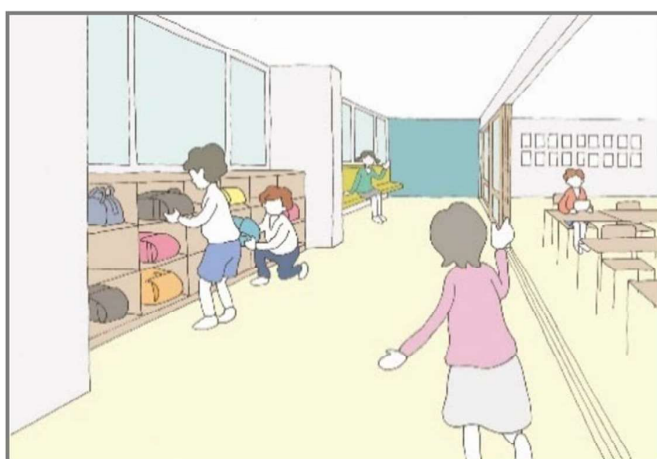


多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応

9

文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校の在り方について」より抜粋

(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設



ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

10

文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校の在り方について」より抜粋

(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設



学校図書館とコンピューター教室と組み合わせ読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿



教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

11

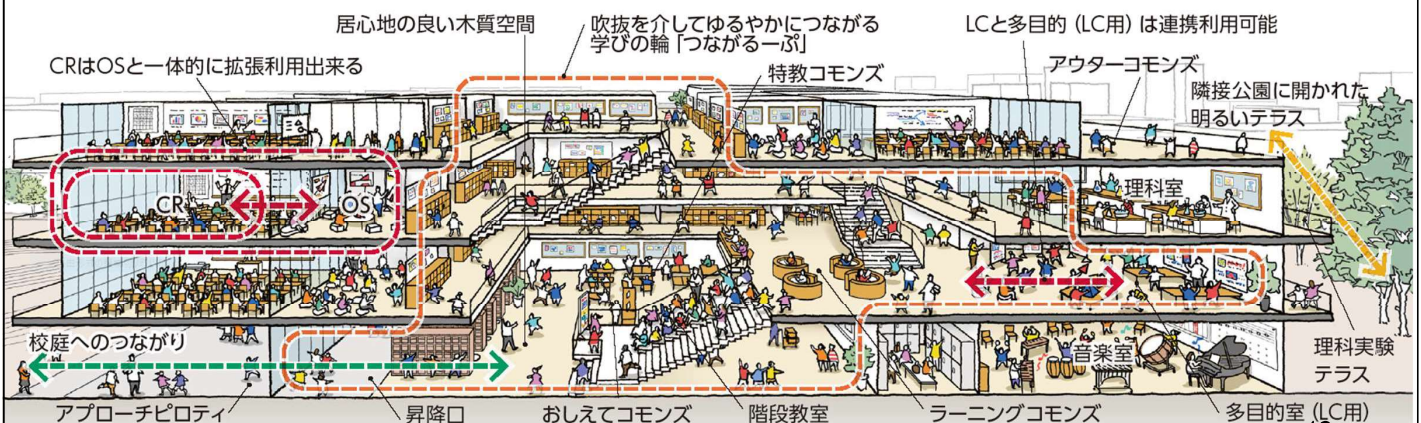
文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校の在り方について」より抜粋

(3) 校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間整備

『校舎全体をゆるやかにつなぐ **学びの空間**』

“主体的・対話的で深い学び”の活性化 “個別最適な学び・協働的な学び” 選べる学びの空間

- ・ 学校図書室＋多目的室を“ラーニングコモンズ”として、学校の真ん中に、開放的に整備
- ・ 『ラーニングコモンズ』を中心とした **学びの空間を連続** させ、学びの“重なり”をつくる
- ・ 『重なり』が日常生活の中で、“**学びとの 出会い・興味・楽しさ**”を生みだし、交流・刺激・遊びを誘発
- ・ 多様な空間の連続的配置により、“**生徒自らが学びの場を見つけられる**”



配置・ゾーニングの考え方

13

配置計画の考え方

① 建物位置・大きさ・かたち

- ・ゾーニング(必要諸室のレイアウト)
- ・給食室・地域こども館・プールの位置
- ・校庭の広さ 等

② 動線

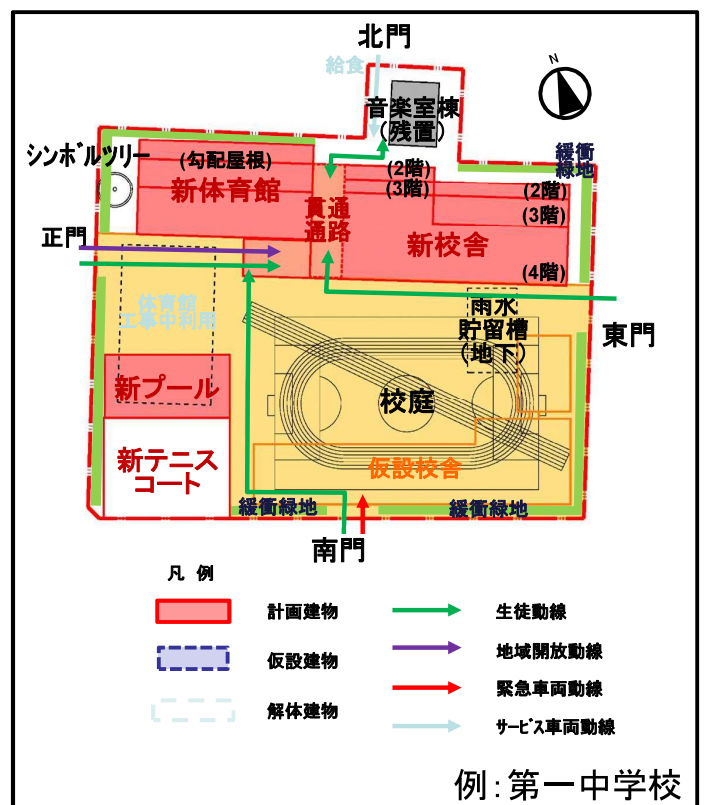
- ・児童動線
- ・地域開放動線
- ・災害時の動線
- ・車両動線 等

③ 法規制

- ・高さ制限
- ・日影規制 等

④ 近隣への影響

- ・境界からの離隔 等



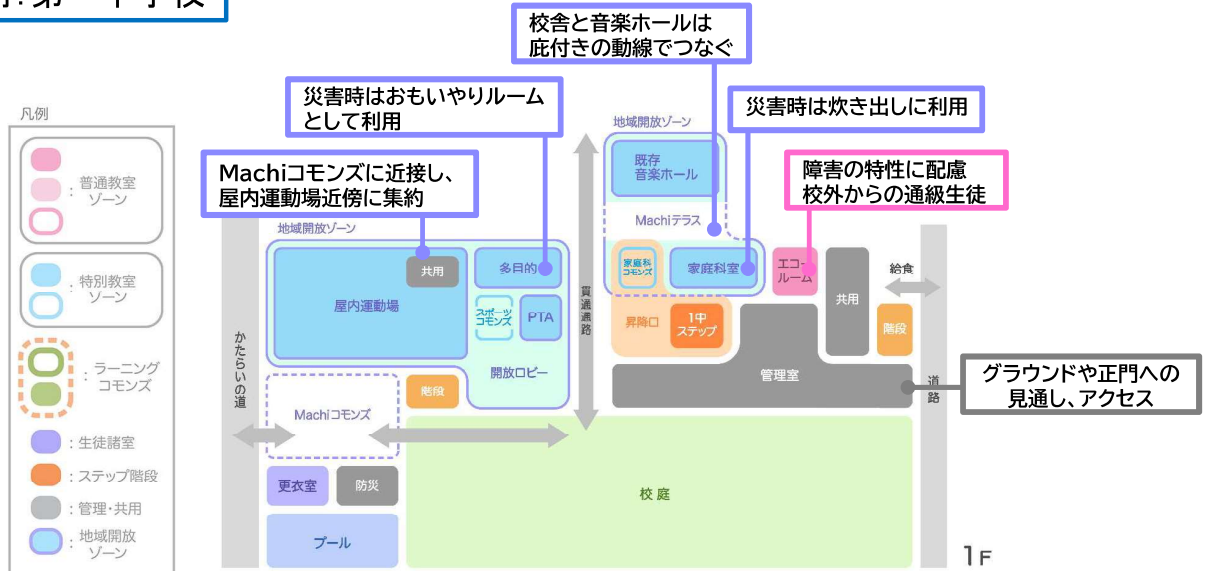
14

ゾーニングの考え方

ゾーニングとは

空間を用途や機能別に分けて配置すること。

例：第一中学校

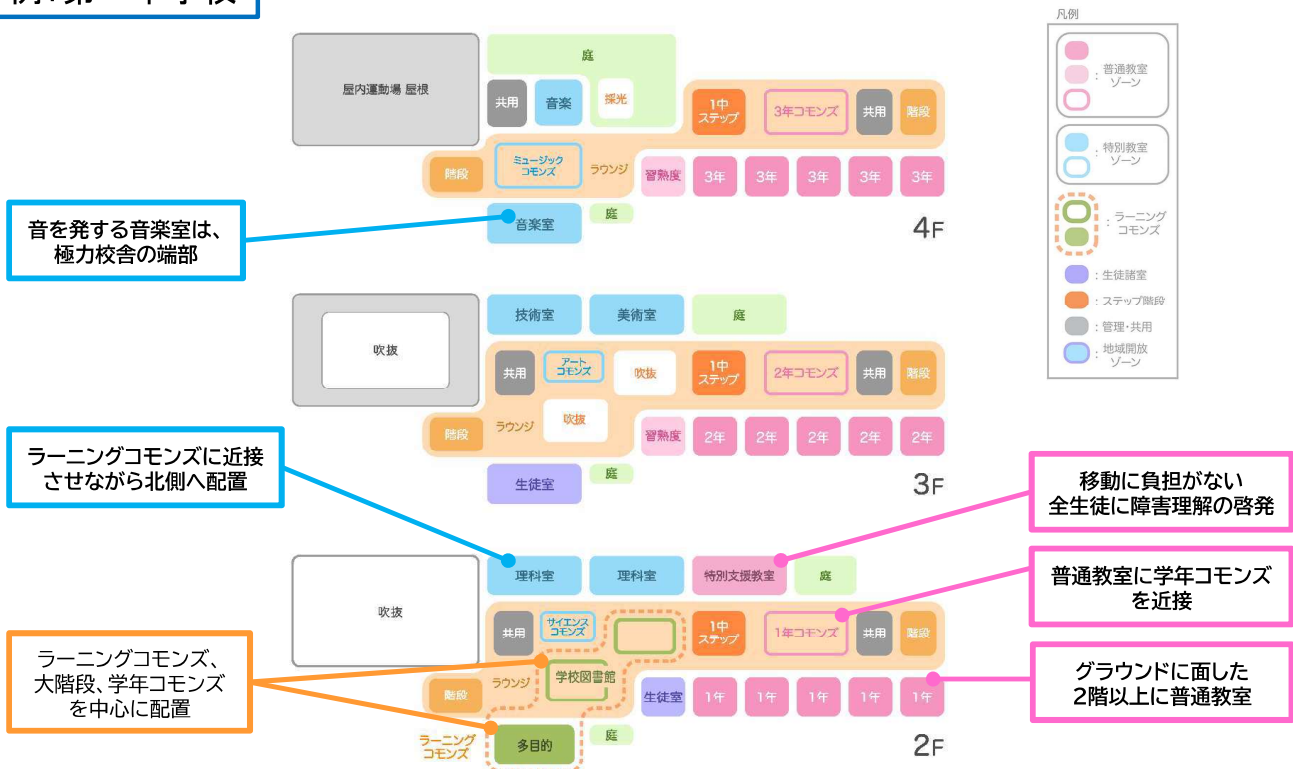


15

参考：武蔵野市立第一中学校改築基本設計概要版 p.15

ゾーニングの考え方

例：第一中学校



16

参考：武蔵野市立第一中学校改築基本設計概要版 p.15